

学校新聞

令和二年度

「薫風」第2号

11月10日(火)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日制課程 〒142-0042 品川区豊町2-1-7

「なりたい自分を演じる」

校長 豊岡 耕一郎

2学期も中間考査が終り、いよいよ自分の進路実現に向けて本格的に動き出しています。3年生は推薦入試や総合選抜入試に向けて、先生方の指導の下、面接や論文などの準備に遅くまで頑張っています。自分の進路実現に向けて、あきらめずに最後まで頑張ってください。1・2年生は自分の進路を選択する大切な時期です。輝かしい未来のため、今できることに精一杯取り組んでください。結果はともかく、取り組む姿勢が問われているということを心に刻んでおいてください。



さて、先日の10月30日(金)、1年生だけのミニ体育祭が行われました。競技種目は大縄跳びとクラス全員リレーの2種目でしたが、体育祭実行委員の皆さんが中心となって、企画から運営まで主体的に活動してくれて、皆さんのこの行事を成功させたいという思いが伝わるほほえましいものでした。最初はぎこちなかったクラス内のエールも、競技を進めていくうちに一体感が出てきたように思います。大きな声を出して飛んでいる姿、懸命に走る姿、仲間を精一杯応援する姿などなど、皆さんのあふれる笑顔を見ることができて、非常に楽しいひと時でした。競技が終わった後もクラスごと、思い思いに写真を撮っている姿を拝見していると、皆さんも十分楽しめたのではないのでしょうか。まさに『思い出をシェアしよう』にふさわしい行事でした。



さて、今回皆さんに伝えたい事は「なりたい自分を演じる」ということです。

皆さんは、大崎生としての自分、部活の中の自分、友達の中の自分、家族の中の自分等々、様々な集団に所属しそれぞれ課された役割を担っています。言わばその役を演じているのです。演じていると言うと、うそや偽りの世界のように、あまり良いことのように聞こえないかもしれませんが、様々な役(立場)において求められていることを理解し、その役を演じ切る(経験)ことで新しい自分を発見したり、本当に自分がやりたい事がわかってきたりするものです。

かく言う私も、校長という職を演じているに過ぎません。私が考える校長というイメージにできるだけ近づけようと日々努力して演じているのです。そうやって演じ続けていると、ものの見方や考え方、行動が変わってきて、自然と振舞えるようになるから不思議です。

例えば、長友選手のようにプレーがうまくなりたいたか、勉強できるようになりたいとかがあれば、その人のプレーをまねるだけでなく「あの人だったらこう行動するに違いない」といった練習に対する考え方や行動なども真似をして、完全になりきることです。明るい人になりたいと思うなら、身近な人で、目指すべき人を見つけて、その人の真似をすることです。ただ、明るい人になりたいからと言って、最初から24時間振舞おうとすると、疲れてしまうので、例えば朝の挨拶だけは元気よく明るくしようとか、午前中のこの時間だけはとか、時間とか場所を区切ってやってみるとよいでしょう。そうすればきっと、いつもと違う自分に出会うはずですよ。

憧れの人に行えるだけ近づけようとなりたい自分を演じ続けて入れば、いつしかそれが本当の自分になる。考えただけでも素晴らしいことではないでしょうか。私も、次はどんな役回りを演じようか(どんなことにチャレンジしようか)とワクワクしながら考えています。